

学校評議員に係る報告書

<p>学校評議員への 諮問内容</p>	<p>【第1回学校評議員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和7年7月14日(月) 15:00~16:30 ・校長挨拶(含委嘱状交付) ・参加者確認 ・学校の現状について(教務、生徒指導、進路指導) ・学校評価項目について ・服務規律への取り組みについて <p>第2回学校評議員会</p> <p>日時 令和8年2月4日(水) 15:00~16:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長挨拶 ・参加者確認 ・学校の現状について(教務、生徒指導、進路指導) ・学校評価の結果について ・服務規律への取り組みについて
<p>学校評議員からの 意見・助言等</p>	<p>○は学校評議員の意見。→は学校の回答</p> <p>【第1回学校評議員会】</p> <p>○SNSに関するトラブルはあるか。利用の線引きはどうしているか。</p> <p>→スマートフォン等は個人の持ちものであり、利用の線引きは学校ではできない。ケースバイケースであり、生徒、保護者から内容を聞きアドバイスはできるが、トラブルに対しては警察の対応となる。</p> <p>○スタディサブプリの費用はどれくらいか。また、英語の学力の現状を知りたい。</p> <p>→費用は年間6,000円である。年2回の到達度テストや講義の動画、小論文課題等の配信をすることができる。英語に関しては弱い。特に、今年度の1年生は国数英の3教科とも厳しい状況である。</p> <p>○朝補習がなくなり、進学率が下がるのではないかと懸念している。先生方や生徒から不安の声はなかったのか。</p> <p>→朝補習があったころより、現在のほうが生徒の表情が良い。職員も授業で勝負するということが明確になっている。生徒から不安の声も聞かない。S-timeにおいては、3年生では8割以上の生徒が、集中して自学に励んでいる。</p> <p>○SNSの問題は保護者の責任が大きいと考える。スマートフォンの校内持ち込みは許可できないのか。生徒からの要望が出たときには、生徒たちにも考えさせてほしい。島内の子どもの数が減少している。島外からの進学に期待するしかないが、生徒募集に尽力いただき感謝している。</p> <p>→県北、県央、県南、島内の各中学校を訪問している。親元を離れて入学する生徒たちをしっかりと見ていきたい。</p> <p>○スマートフォン等については、保護者の責任が大きい。先生方には学習指導に専念してほしい。</p> <p>○体育祭が4月開催(全日制)と聞いて驚いたが、先生方の指導と生徒の主体性で成功に終わったのではないかと。また、定時制においても雰囲気良かった。</p>

	<p>【第2回学校評議員会】</p> <p>○全日制の生徒による学校評価でボランティア参加項目の数値が下がっているが原因はあるか。</p> <p>→昨年までは、トライアスロンボランティアに全部活動生が参加していたが、今年度から半数の部活動生が隔年で参加する形となった。不参加の生徒の意見が反映されたと考えている。</p> <p>○スマートフォン等のトラブルはどうなっているか。</p> <p>→スマートフォン指導の中で生徒だけでなく保護者の意識の低さも感じることもあり、保護者のモラルや管理責任等の意識の向上が望まれる。また、今後学校では抱えきれない事案もありうるのではないかと懸念している。(全日制)</p> <p>→大きなトラブルはない。授業中は職員室で預かっているが直前までゲームをしている生徒もいる。(定時制)</p> <p>○退学者、転学者、心のケアはどうなっているか。</p> <p>→原因は様々である。家庭訪問やSC、SSWとも連携を取りながらケアしている。</p> <p>○衛生看護科の今後が気になる。</p> <p>→県として高校再編に取り組んでいるが、五島全体で考える必要がある。島内の看護師の確保の面からも衛生看護科は必要だと考えるがまだまだ協議の途中である。</p> <p>○スマートフォンについては、生徒の自制心、保護者の責任によるところが大きいと感じた。</p> <p>○学校便りは、メール送付でも良い。</p> <p>○目指す姿がはっきりしており、生徒が主体的に活動しているように感じる。</p> <p>○日本語学校の留学生と交流ができないか。時間帯を考えると定時制との交流を期待している。</p> <p>○定時制のキャラクター、良い取り組みである。</p> <p>○生活安全面では、引き続き指導をお願いしたい。スマートフォン等についても保護者に責任があるのはもっともである。</p> <p>○薬物に関する事案も今後発生しないか心配である。</p> <p>○新制服の着こなし指導についても、引き続きお願いしたい。</p>
<p>対 応 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全日制、定時制ともに五島高校に対する高い評価や大きな期待が感じられた。 ・生徒とともに議論しながら、これまで以上に生徒が主体的に学校生活を送るような取り組みを行う。 ・スマートフォンに限らず、学校生活や社会生活を送る上でのモラルやマナーの向上を図る必要がある。そのためにも、生徒主体のルール作りに取り組む。また、面談やPTA活動を通して保護者の協力や意識向上を図る。 ・多様な生徒がいる中で、生徒の抱える悩みも様々である。教職員全体で情報を共有し、個に応じた対応やSC、SSWとも連携した体制を構築していく。 ・生徒数減の状況であるが、生徒募集、生徒数確保に力を入れる必要がある。離島留学制度や衛生看護科においても島内だけでなく島外の説明会への参加や中学校訪問を通して、五島高校の魅力を発信していく。